

伊都キャンパスの生活状況等に関するアンケート結果の概要

平成27年3月5日

九州大学新キャンパス計画専門委員会

福利厚生施設WG

1. 調査の目的

伊都キャンパスに通学している学生のキャンパスライフの状況等に関する意向調査を実施し、その結果を基にして、伊都キャンパスにおける学生生活支援施設（食堂・課外活動施設等）の運営及び学生寄宿舍の整備等への活用並びに周辺地域での学生用宿舍の建設促進を図るためにアンケートを実施するもの。

2. 調査対象

平成26年8月現在、伊都キャンパスで勉学している学生

- ・ 基幹教育を学んでいる学部学生
- ・ 理学部（数学科）、工学部及び21世紀プログラム課程の3年次以上の学生
- ・ 比較社会文化学府、地球社会統合科学府、数理学府、工学府、システム情報科学府及び統合新領域の学生

3. 調査期間

平成26年8月20日（水）～平成26年10月15日（水）

4. 調査方法

Web上で記名によるアンケート調査

5. 回収結果

(1) 有効回収数 542人

(2) 回収内訳

学部学生 459人 (84.6%) 修士課程 56人 (10.3%)

博士課程 11人 (2.0%) 研究生等 0人 (0.0%)

無回答 16人 (3.0%)

※内、外国人留学生 24人 (4.4%)

(3) 回答者の性別

男 63.5% 女 32.8% 無回答 3.7%

6. アンケート回答結果の概要

(1) 通学について

①徒歩が依然として1番多く252件(46.5%)となっており、次いで昭和バス235件(43.4%)、自転車231件(42.6%)、西鉄バス129件(23.8%)となっており、昨年よりバス利用者が増えている。【昨年】昭和バス11.5%、西鉄バス10.0%

②男性は女性よりも自転車やバイク・原付の利用割合が高く、女性は男性よりも徒歩と公共交通機関の利用割合が高くなっている。

③伊都キャンパスへの通学に際し、利便性を向上させるための希望として、「鉄軌道系の導入(48.0%)」がと1番多く、次いで「夜遅くまでのバス運行(45.2%)」、「平日におけるバスの増便等の充実(37.1%)」となっており、昨年よりバスに対する希望が増えている。

(2) 住居について

① アパート・マンションに居住する学生の割合が57.7%と最も高く、次いで、自宅等は昨年と同程度(27%)である。昨年と比べて伊都キャンパスの学生寄宿舍居住の割合が増加している。(2.7%→6.5%)

② アパート・マンションに居住する学生の割合は、男子学生が62.2%、女子学生が51.7%で、女子学生は自宅・親戚・知人宅に住んでいる割合が多い。

(3) 部屋代(1ヶ月)について

① 4万円以上5.5万円未満の学生の割合が42.2%で最も多く、昨年とほぼ変わらない。

(4) キャンパス移転に伴う転居について

① 47.4%の学生が既に転居を完了していると回答している。転居しないと答えた割合は42.3%となっている。昨年度とあまり変わらない。

② 転居した又は転居を希望するエリアは、福岡市西部(九大学研都市駅周辺)が33.1%で最も高い。次いで、伊都キャンパス近隣(元岡、糸島市泊、学生寄宿舍)が20.0%であり、昨年(4.6%)から大きく割合を伸ばしている。

(5) キャンパスでの生活について

①伊都キャンパスの食事(昼食)についてみると、主に大学内の食堂が63.9%と高く、昨年度に比べ20%ほど上昇している。

②食事の価格については、「適当である」を選択した学生の割合は61.8%と、昨年の57.1%より増加した。

③伊都キャンパスでの学生生活に「非常に満足している」及び「満足している」割合は40.4%で昨年度に比べ増加した。また、「非常に不満である」及び「不満である」と回答した割合は29.6%であり、昨年度に比べ若干減少した。

④男女別では、「非常に満足している」及び「満足している」割合は、男子学生37.7%、女子学生47.2%であり、「非常に不満である」及び「不満である」と回答した割合は、男子学生34.1%、女子学生19.9%となっている。

⑤外国人留学生についてみると、「非常に満足している」及び「満足している」割合は58.3%、「非常に不満である」及び「不満である」と回答した割合は、29.1%となっている。

⑥キャンパス周辺に必要な施設については、「コンビニ・スーパー」が63.8% (346人)と最も多く、次いで「飲食店(レストラン等)」が60.9% (330人)、「娯楽施設」が45.0% (244人)、「書店」が40.2% (218人)、「病院・薬局」が24.9% (135人)である。昨年度と比較すると「コンビニ・スーパー」と「娯楽施設」の需要が高まっている。

⑦伊都キャンパス周辺に危険な場所があると回答した割合は75.8% (411人)と非常に高い。具体的な場所と理由としては「伊都キャンパス前の交差点に通学時に原付やバスが密集している」、「工学部までの坂道を自動車と自転車の道に分けてほしい」、「図書館裏の一方通行の道は逆走者がいて危ない」等が挙げられる。